



草津温泉の町並みと背後に白銀の姿を見せる草津白根連峰 2002.4.14.

kusatsu0.htm 2002.4.13. by M.Nakanishi

「 一度いきたかった草津温泉 風来坊 」

1. 草津よいとこ 一度はおいで・草津温泉「湯畑」と泉源の露天風呂
2. 残雪の草津白根山と草津白根 殺生河原からの展望
3. 日本ロマンチック街道を草津から奥日光へ 日本のナイアガラ「吹割りの滝」
4. 芽吹きの新緑の渡良瀬渓谷 「富弘美術館」



草津白根山



草津温泉



吹割りの滝

花の4月 春が猛スピードで走っている。春物への衣替と掃除のために家内が柏へ来てくれている。

「前から一度行こうと言っていた草津温泉へ

今年は春が早いので あわよくば草津白根に登って沼田街道を金精峠へ」の風来坊プラン

柏でレンタカー借りる智恵もついたら、家内は「草津温泉へ行こう」で goo.

二人とも関東はどこも知らないなので、どこへ行っても珍しい。

「食い気と花と山が見えればそれで ok 」の風来坊である。

4.13. 柏から関越自動車を通して伊香保 IC へ。 ちょっと寄り道して榛名山を越えて長野原へ そこから草津への道をたどりました。草津温泉の入口では思いもかけず、「ザゼンソウ」の群落に出会いました。

「草津温泉よいとこ 一度はおいで」ではないが やっぱりすごい いく価値あり。

街の中心の湯畑 そして 泉質の異なる河原の湯・大滝の湯の二つの露天風呂。そして頭の上には白銀の草津白根連峰 1日ふらふら歩いていても退屈しない温泉街である。関西では有馬・城崎に近い古い温泉街の家並 湯畑は湯村温泉の泉源か でもスケールは文句なく草津。

そして なんと行っても白根の山並がどこからでも見えるのがいい。

草津白根山 雪で登れなかったのですが、その堂々とした姿と共に上越・奥日光・上信の山々が回りに浮かび、山の良さも味わうことができました。 白根とは反対側に浅間もくっきりと浮かんでいました。



翌日 信州側に出るよりも、山を眺めながら のんびりと沼田街道に出て奥日光への道をたどり 一度見たかった「吹割の滝」そして足尾渡良瀬溪谷の「富弘美術館」へ戻るコースを帰りました。 行きたかった日本のナイアガラ「吹割の滝」 芽吹きの新緑が素晴らしかった渡良瀬溪谷 そして 「富弘美術館」の母への思いを綴った詩にも心をうたれました。

本当に沢山のいつものながらの風来坊 車があればこそですが、時間に追われない気ままな山里の旅 リフレッシュ リフレッシュ です。

2002.4.14.夜 家内と二人して

地図を前に風来坊をふりかえりながら

草津温泉・草津白根山と日本ロマンチック街道を吹割の滝・渡良瀬溪谷へ 2002. 4. 13.14.



草津温泉



草津温泉 湯畑



草津白根山 殺生河原



草津 ザゼンソウ公園



日本のナイアガラ 吹割の滝



若葉の足尾 渡良瀬溪谷



渡良瀬溪谷 東村 富弘美術館

13.1. 草津よいとこ 一度はおいで

- 草津温泉「湯畑」と 泉源の露天風呂 -



【1】 伊香保 IC から 水沢・伊香保・榛名山を通過して草津へ

・ 草津 ザゼンソウ公園 ・

4.13. 柏を朝でて、関越自動車道を榛名・伊香保 IC で降りて、榛名山を山越えして草津へ行く事にする。

目的は伊香保の麓水沢で昔たべた「うどん」の印象が強烈で再度そこへ行く事。もう 十数年前 茨城県波崎の研究所にいた頃 その仲間が野球の県代表となり、関東大会の決勝が伊香保のグラウンドであった。カンカン照りの6月だったと思うが 仲間と一緒に応援に来て ビールのみながらの声援。緑の中の素晴らしい球場で優勝し、その帰り みんなでビール飲みながら食べた「うどん」が「水沢うどん」。誰が知っていたのか良くわかりませんが、球場から緑の森の中少し走って・・・。



伊香保・榛名の高原は桜が満開。桜とまだ芽吹きにはちょっと早い森の中を抜けて 水沢へ水沢の街 「こんなに うどんや あったっけ・・・」と思うくらい記憶は曖昧でしたが、やっぱり美味しかった。

「なんかやろう なんかやろう」と良く飲んだ十数年前の波崎時代の思い出ですが、みんな今 どうし

ているでしょう 元気だろうか・・・

伊香保の温泉街を抜けて 榛名山・榛名湖から長野原へ下って行く。ここから先は一度も足を踏み入れた事のない谷筋。上州・吾妻 中之条・長野原 地図では良く見たところですが 温泉が連なる空白の谷筋。渋川から碓井峠を越えて軽井沢への信越線が長野新幹線に変わって鉄道がプツンと切れてしま

って・・・。

榛名山を越え JR 吾妻線沿いに狭い谷間の道を草津に向かって走る。昔からの信州へ至る街道であり、草津の湯に湯治に行く本道である。

草津への道は JR「草津口」から折れて「六合村」を越えて草津に行く道とそのまま JR の終点「長野原」へ出て、草津へ折れる道がある。

そのまま長野原へ出て 草津への道をとる。吾妻線沿いに走るあたりから雲が多くなり、雨もちらつく。



草津への登り道を少し走ったところで「草津 ザゼンソウ公園」の標識。

水芭蕉はちょっと早いかも・・・と思っていましたが、ザゼンソウの群落が思いもかけず見れました。

昨年 尾瀬ヶ原へ水芭蕉見に行った折にその木馬道の際に数株 ひょっと咲いていた「ザゼンソウ」。

林に囲まれた湿原の中に本当に



沢山花を咲かせていました。

水芭蕉が白い衣をオープンにして坊主頭を覗かせる華やかさに比し、頭を茶色の衣でまるで身を隠すかのようにひっそりと咲く「ザゼンソウ」。思いがけない湿原での静かな walk でした。

水芭蕉の華やかさに比して 林の中でひっそりと静かな思いのザゼンソウその姿も一度見たら忘れられないですよ 本当にラッキーでした。

草津 ザゼンソウ公園 スナップ 2002.4.13.



13.2. 残雪の草津白根山と草津白根殺生河原からの展望

kusatsusirane0.htm

14日朝5時 快晴 ホテルの大浴場 朝風呂へ
風呂からは夜明け前の白根連峰が朝もやの中
草津の街の家並み越しに堂々とした姿で一大パノラマを見せている
温泉につかりながらのこの景色 朝早起きの得

また、ホテルの南側には草津白根に対峙して高原の林の上に
真っ白な裾野を広げた浅間山が堂々とした姿を見せている
雪の浅間山の景色をじっくり見るのも初めて
昨日とは打って変わった快晴である

草津高原からの展望



【草津高原より 北 草津温泉街越しに草津白根連峰】
【草津高原より 南 浅間山】



草津白根 殺生河原からの展望



草津白根ドライブウェイより 草津の街 & 草津白根連峰 2002.4.14. 早朝

快晴の早朝。

夜明けの薄明かりの中 白根が全貌を見せている。この草津白根連峰や周辺の山々を見ないで そのまま下る手はない。

家内をせきたてて 朝飯前 再度 白根のドライブウェイを殺生河原へ。

昨日の夕方とは打って変わって 快晴の天候にドライブウェイを登るにつれ、次々と周辺の山々が姿をあらわしてくる。

正面には別途雪をつけた草津白根連峰がどっしりと座り、東には 砂子山越しに苗場から谷川の上越の山々 そしてその南には武尊山から奥日光・赤城山 そして南には 榛名山・妙義山 奥秩父から上信国境の山々が、朝霞の空に浮いて素晴らしい景観である。

殺生河原からは 雄大な壁となって裾野を広げる草津白根に阻まれ 信州側の山は見えないが、それ以外はすべての方向の山々が見えている。



殺生河原からの展望 上越・奥日光・赤城 秩父・上信国境の山々

名前の特定は苦手だが、道路脇の崖の上に攀じ登って地図と合わせて周りの山の特定をはじめ。

苗場・谷川岳にもべつとりと雪がついている。また 遠くかすんだ奥日光の空の右手に見えるのは尾瀬至仏山一番奥に頭を突き出しているのが日光白根か 南に堂々とした山塊を見せるのが赤城山 秩父の山はよく知らぬ そして 南 草津の向こうには円錐の榛名富士。浅間は山と木々に阻まれてここからは見えない。



殺生河原で 草津白根山背景に

2002.4.14.

昨日は霧でわからなかったが、ドライブウェイの両側には殺生河原の名にふさわしく あちこちからガスがふきだし、木々のない岩のゴロゴロした原が広がっている。ドライブウェイを遮断したクロスバーを乗り越えて 少し上の方へ歩いてみる。

今日も誰一人いないご機嫌の殺生河原。 山へ登る為誰か登ってこないのか・・・

本当に白根に登りたかったのですが・・・今度はコマクサが咲く時に 是非にと未練を残しながら草

津へ戻りました。

13.3. 日本ロマンチック街道を草津から奥日光へ

- 日本のナイアガラ 「吹割の滝」 -



fukiwari0.htm 2002.4.14. by M.Nakanishi

4.14. 早朝

朝食の後 「日本ロマンチック街道」と名づけられた六合村を経て山越えの旧街道筋を沼田へ抜け、尾瀬・奥日光への沼田街道を進み 「吹割の滝」へ。

「吹割の滝」から 少し引き返して 赤城山山麓を抜けて渡良瀬渓谷を再度遡り、足尾・富弘美術館に行く事にした。車でないと中々行けない場所である。

「吹割の滝」は「日本のナイアガラ」の名前に引かれ 是非行ってみたいところ。

富弘美術館も一度いきたいと思いながら行けなかった場所。

まさに今日は風来坊である。

六合村と暮坂峠 2002.4.14.



六合村から 草津白根連峰



若山牧水 短歌の旅で越えた暮坂峠と牧水の歌碑



草津温泉から山間の道を一端もと来た街道筋に戻り、草津口から六合村へ また山の中に入る。どこもこのあたりは桜が満開。六合村の集落の上に草津白根連峰が白銀の峯々を輝かせ、白根直下の草津温泉からの景観とは違った美しさを示している。草津からそのままこの六合へ入る道もありましたが、遠回り。

六合村から野反湖へまっすぐ北へ伸びる道と別れ、東に暮坂峠へ上ってゆく道へ入る。道のあちこちに若山牧水の歌碑が建っている。

この六合から暮坂峠を中之条へ抜ける道は古くからの街道筋。平家落人の隠れ里ともいい、また今多くの芸術家が住む芸術村でもある。

この道は一度沼田の街へ出て利根川を渡りそのまま山の中にはいり、武尊山・尾瀬の山塊と赤城山・日光白根・皇海山の山塊の間を奥日光金精峠や尾瀬へと抜けて行く。この尾瀬・奥日光の山塊から沼田街道沿いに片品川が流れ下り、沼田で利根川と合流する。

沼田街道を片品溪谷 吹割の滝へ

沼田街道 白沢からの上越・赤城山 展望

2002.4.14.



赤城山



谷川連峰



武尊山

沼田を抜けて程無くはいる白沢の集落からは 花吹雪の中 北に谷川連峰・武尊山が白銀の峯々を輝かせ、南には裾野の広い雄大な赤城山が見え、この間を縫って沼田街道が奥へ進む。ここは群馬側の尾瀬への入口大清水・鳩町峠へ また 鎌田から分かれて奥日光白根山の麓 丸沼・菅沼を経て 金精峠から中禅寺湖 日光へ抜ける第一関門。

吹割の滝

幾つかの山間の集落をぬけ、老神温泉への分岐を過ぎ 鎌田の手前に吹割の滝がある。

両側の山間の台地状のところを街道は登って行くが、この台地の北側の山裾が崖となって切れ落ちており、その下を片品溪谷を作って片品川が流れ下る。溪谷とは言え川幅の広い本流であり、流れはきついが一見平坦部を流れて滝などありそうに見えない。

流れのそばに下りて驚いたが、川に沿ってつけられた道を少し下ると雪解けの水がとうとうと流れるこの本流が突然



川の中央で縦に裂けそこへ流れが落ち込みそのまま幅の広い断崖となって下へ流れ下る。

吹割の滝

雪解けの水を集めた片品川は水量が多く 落差はさほど大きくないが その裂け目への水の流れ込みはすごい迫力。

日本のナイアガラといわれる所以である。



上流側より 吹割の滝 遠望



下流側より 吹割の滝

滝の直ぐ横まで行けるので 余計に川幅一杯に流れ落ちる水のボリュームに圧倒される。写真で少し知ってはいたものの予想もしなかった不意打ちの本流 川幅一杯の滝にビックリする。

尾瀬や日光 そして立山の滝など山間から落差の大きな高い崖にかかる滝や やや斜めの岩肌を川幅一杯に流れ下る平滑の滝とも違う全く趣きを異にする滝である。

その落差とスケールでは劣るがまさにナイアガラの滝である。

片品川はこの吹割の滝の下で一挙に川幅が狭まって約 1km を急流の片品渓谷となって 途中鱒飛の滝を経て流れ下る。

周りの山間の景色 特に紅葉の秋を考えると素晴らしい色模様となるろう。

13.4. 芽吹き of 渡良瀬溪谷 「富弘美術館」



tomihiro0.htm

4.14. 吹割の滝から先 奥日光への金精峠は雪でまだ通行止めで奥日光へ越えることができず。沼田の方へ少し引き返し、皇海山を左手に見ながら赤城山中一分け入り、赤城山の山腹を突ききって関東平野へ出るところ大間々へ出て、再度足尾・渡良瀬溪谷に入り、溪谷の途中東村の富弘美術館へ行く事にする。昨年丁度同じ時期に赤城山へ登ったが、北斜面のみならず、尾根筋にも大量の残雪賀在り、火口湖も完全に凍結していた。

今年は春が早いというもののこの時期 群馬の山はちょっと高くなるとまだ雪がべったりである。でも赤城の外輪山の縁を南に大間々へ下って行くと赤城を南に下るにつれ、山は冬の装いから芽吹き of 春の装い to 変わって行く。

渡良瀬溪谷に入ると素晴らしい芽吹き of 春。山全体が淡い緑を呈し、今通り抜けてきた草津・片品川沿い・赤城山山麓とからは見違えるような素晴らしい芽吹き of 春。

溪谷には 足尾鉾毒・田中正造渡良瀬遊水池の暗いイメージがあり、中々足を向けられなかったところでした。

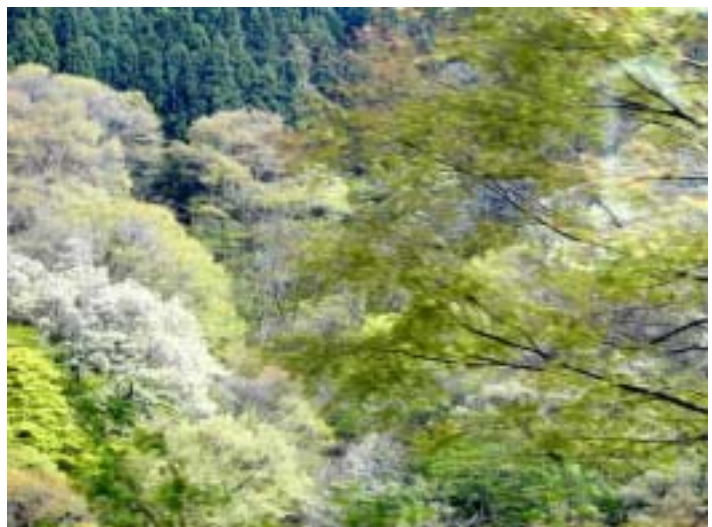
しかし、渡良瀬溪谷に入ってビックリ。時期が山の樹々が芽吹き with 華やいだ美しさを呈していた性もあるのですが、本当に明るい開けた谷。

この山間の溪谷の木々を眺めながら約 30 分。

芽吹きははじめた足尾渡良瀬溪谷 2002.4.14.

足尾の山をバックに湖のほとりに富弘美術館がありました。

本当に山の中 関東圏の一番奥 車でないと中々行けないところでしたが、美術館は中高年の人を中心に大勢のひとがつめかけ、「いやし」の美術館として愛好者が多い事がうかがえました。



富弘美術館

自己で手足が不自由になった星野富弘さんが
 口に絵筆をくわえ書かれた四季折々の花の絵とそれに添えられた詩
 やさしい情感が詩と花の絵からほとばしり出て、多くの人の共感を得ているのでしょう
 美術館の中には これらの作品が数多く展示され、
 自分の知っている詩 知らない詩
 それぞれその作品にこめられた思いを味わいながらのゆったりとしたひと時でした
 特に幾つもの「お母さん」についての詩が本当に印象に残りました
 美術館の外へ出て 湖畔越しの足尾の山々を眺めていると実にさわやか



「いやし」の美術館などというのは嫌ですが、ふっと物思いに沈む時など 出掛けると良いですね
 相田みつおの「にんげんだもの」の世界とはちょっと違った意味で、決して無理をしない元気が出てき
 ますよ・・・帰って 早速 また本屋へ行って 富弘さんの「風の旅」に見入りました。

吾妻・草津から赤城・片品溪谷 そして 足尾への長野・群馬県境から群馬県を横断して栃木県足尾・
 渡良瀬溪谷までの欲張った家内と二人の「風来坊」
 行くと行く先々で 自分の知らぬ新しい世界が開けるような気がします。
 毎度のごとく 家内に「計画性のなさ」をおこられています・・・
 それも風来坊のよさ やめられぬ良さ です。久しぶりに関東のよさ 実体験。
 まもなく 自由に山へ入れる季節。 まだまだいきたい所在り。
 今年は 出羽三山に登って 奥只見の山にも 青森 秋田岩手釜石の「たたら」も訪ねたいし・・・
 マーレシア ペナンへも 息子が行っているアトランタにも・・・
 まあ 風来坊 どうなるやら・・・・・・・・・・・・・・・・
 2002.5.2. ゴールデンウィーク帰省の新幹線の中で

13. 「一度いったみたかった草津温泉 風来坊」
1. 草津よいとこ 一度はおいで
 ・草津温泉「湯畑」と泉源の露天風呂
 2. 残雪の草津白根山と草津白根 殺生河原からの展望
 3. 日本ロマンチック街道を草津から奥日光へ
 日本のナイアガラ「吹割の滝」
 4. 芽吹きを渡良瀬溪谷 「富弘美術館」

【完】



足尾 渡良瀬溪谷 春の芽吹きの中
 2002.4.14.